

# 平成27年3月期第3四半期 決算概要



東京TYFG

平成27年2月12日公表

株式会社 東京TYフィナンシャルグループ

# 目次

平成27年3月期第3四半期決算サマリー	3
貸出金利回り・預金利回り	4
貸出金	5
業種別貸出金	6
預金	7
有価証券	8
預かり資産	9
金融再生法開示債権・与信コスト	10
自己資本比率（バーゼルⅢ基準）	11
コアOHR・ROE	12
平成27年3月期計画および今期業績の進捗	13

■ 本資料には、将来の業績に係る記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

■ 本資料やIRに関するご意見、お問い合わせは下記までお願いいたします。

東京TYフィナンシャルグループ 経営企画部

東京都民銀行 経営企画部 広報室  
TEL 03-3505-2155

八千代銀行 経営企画部 IR課  
TEL 03-3352-2295

# 平成27年3月期第3四半期 決算サマリー

## ■ 業績推移

(百万円)

	東京都民銀行(単体)		
	25/12	26/12	増減
①業務粗利益	28,397	28,710	313
②資金利益	22,392	22,223	△169
③役務取引等利益	4,100	4,840	740
④その他業務利益	1,903	1,646	△257
⑤うち国債等債券損益	459	487	28
⑥経費(△)	22,374	21,913	△461
⑦うち人件費(△)	10,315	10,015	△300
⑧うち物件費(△)	11,172	10,834	△338
⑨コア業務純益((①-⑤)-⑥)	5,562	6,309	747
⑩一般貸倒引当金繰入(△)	△665	△511	154
⑪業務純益(①-⑥-⑩)	6,687	7,308	621
⑫臨時損益	△3,060	△1,646	1,414
⑬うち不良債権処理額(△)	2,985	1,369	△1,616
⑭うち株式等関係損益	874	186	△688
⑮経常利益(⑪+⑫)	3,626	5,662	2,036
⑯特別損益	△76	△51	25
⑰法人税等(△)	627	1,859	1,232
⑱四半期純利益(⑮+⑯-⑰)	2,923	3,750	827

	八千代銀行(単体)		
	25/12	26/12	増減
	25,920	25,248	△672
	21,209	20,489	△720
	1,919	2,358	439
	2,791	2,400	△391
	2,512	2,004	△508
	20,007	19,665	△342
	11,192	10,937	△255
	7,834	7,628	△206
	3,400	3,578	178
	—	—	—
	5,913	5,583	△330
	△124	1,211	1,335
	1,480	766	△714
	41	112	71
	5,788	6,795	1,007
	△25	△8	17
	1,919	2,157	238
	3,843	4,630	787

東京TYFG(連結)	
	26/12
連結業務粗利益	38,546
資金利益	28,601
役務取引等利益	7,307
その他業務利益	2,637
経費(△)	29,105
与信関係費用(△)	869
株式等関係損益	175
持分法による投資損益	287
その他	△551
経常利益	8,482
特別損益	50,416
うち負ののれん発生益	50,476
法人税等	2,829
四半期純利益	56,030

**「負ののれん発生益」**  
 経営統合の際、被取得企業の「資産・負債の時価」が「株式の取得原価」を上回る場合「負ののれん発生益」を計上します。

「負ののれん発生益」は東京TYFGの連結決算において特別利益に計上されます。

東京TYFGの連結損益には以下の項目が算入されています。  
 ・会計上の取得企業である東京都民銀行の4月～12月までの連結損益  
 ・会計上の被取得企業である八千代銀行の10月～12月までの連結損益  
 ・東京TYFGの10月～12月までの単体損益  
 ・その他連結決算の際に発生する所要の修正(負ののれん発生益等)

※上記表示は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸出金利回り・預金利回り

## ■ 利回り（両行合算）

	25/12	26/12
貸出金利回り	1.62%	1.53%
預金利回り	0.06%	0.05%
預貸金利回り差	1.56%	1.48%

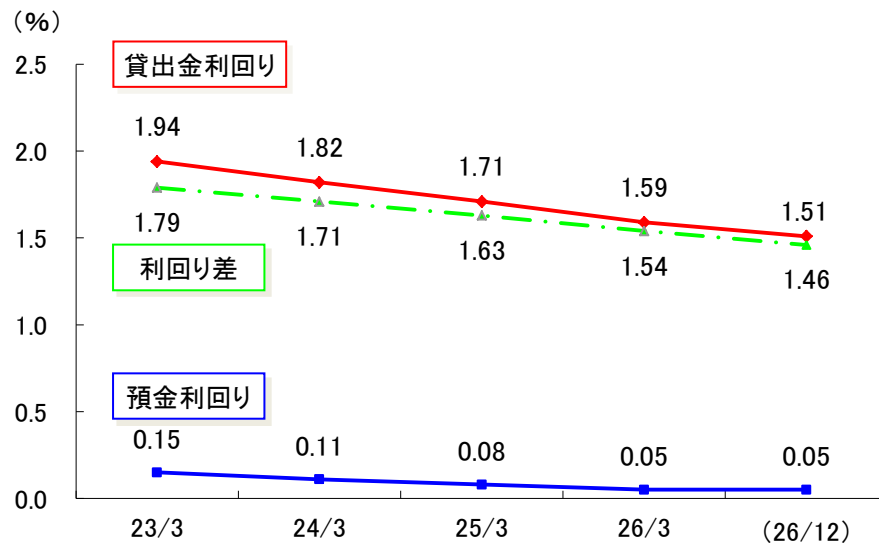
### ◆ 貸出金利回りは依然低下傾向

- ・ 景気の回復傾向は続くものの、資金需要喚起への影響はまだ限定的であり、競合激化のなか貸出金利回りは低下傾向が継続。

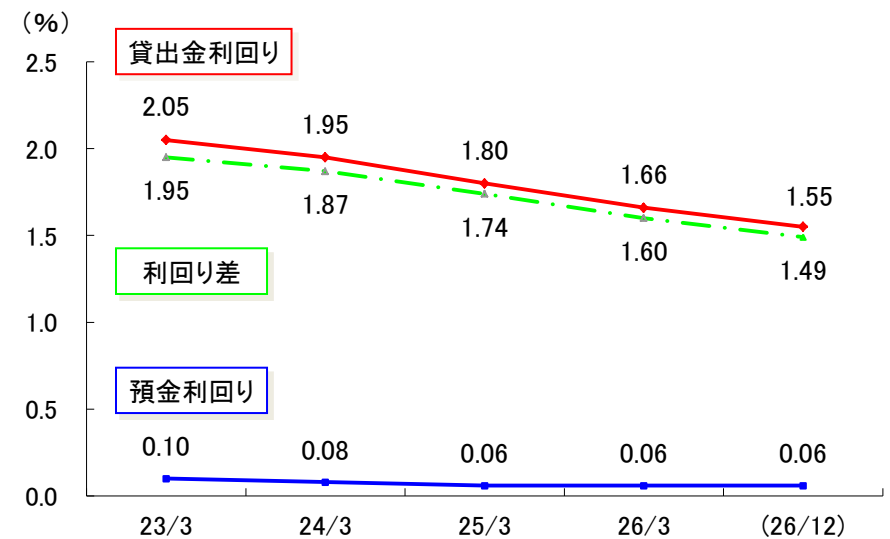
### ◆ 貸出金利回り改善への取組み

- ・ 付加価値の高いサービスの提供やきめ細かな対応を図ることで、顧客との信頼関係を高め、競争優位性を発揮し、貸出金利回りの下げ幅を縮小。

## ■ 利回り推移（東京都民）



## ■ 利回り推移（八千代）



# 貸出金

## ■ 貸出金残高（東京TYFG）

(26/12末)

東京TYFG	
貸出金末残	3兆3,032億円

- ◆ 東京TYFGの預貸率 **72.5%**  
(東京都民銀行 **75.8%**、八千代銀行 **68.4%**)
- ◆ 両行合算の貸出金のうち**80.5%**が中小企業等向け貸出

## ◆ 中小企業等向け貸出

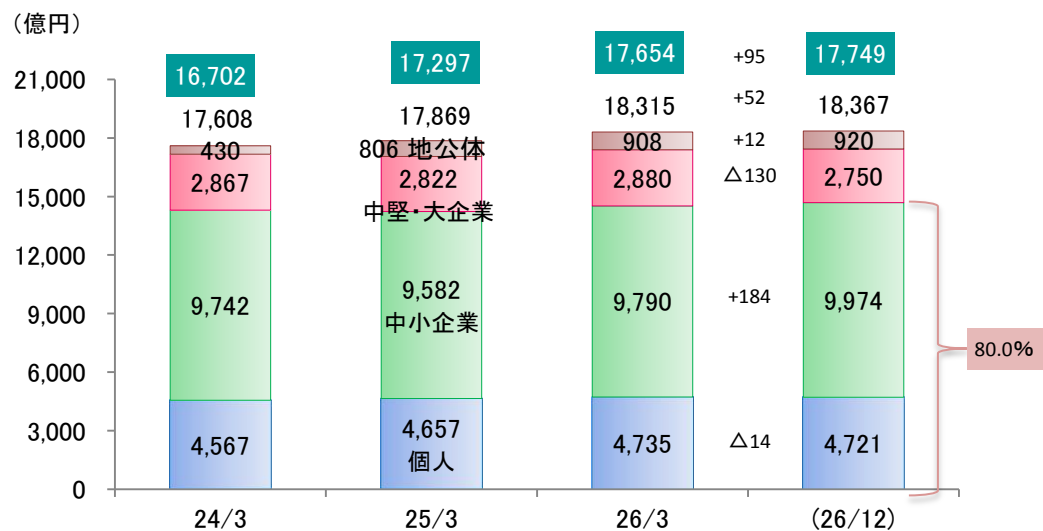
・中小企業向け貸出は前年度末比で両行とも増加し、両行合算で555億円の増加となる。

## ◆ 貸出金残高

・中小企業向け貸出が順調に推移したことで、貸出金残高は両行合算で前年度末比、末残ベースが440億円増加(+1.3%)、平残ベースが583億の増加(+1.8%)となる。

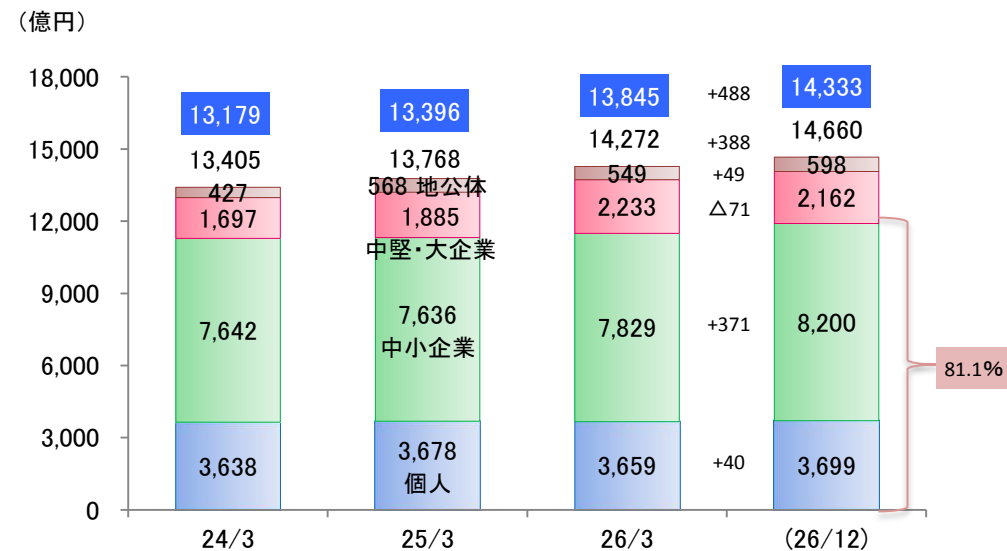
## ■ 顧客別貸出金残高推移（東京都民）

(白抜き数値は期中平残)



## ■ 顧客別貸出金残高推移（八千代）

(白抜き数値は期中平残)



# 業種別貸出金

## ■ 業種別貸出金残高(両行合算)

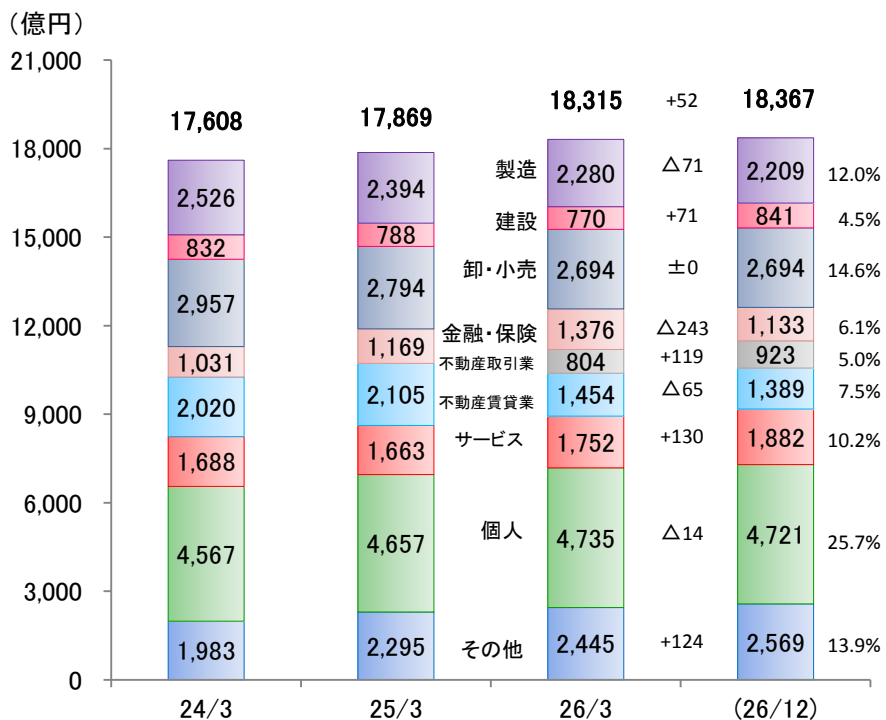
### ◆ 両行合算で構成比が上位の業種 (26/12)

- ① 個人…………… **25.4%**
- ② 不動産業…… **18.4%**
- ③ 卸・小売業…… **12.0%**
- ④ 製造業………… **10.5%**

### ◆ 両行合算で前年度末比増加額が多い業種

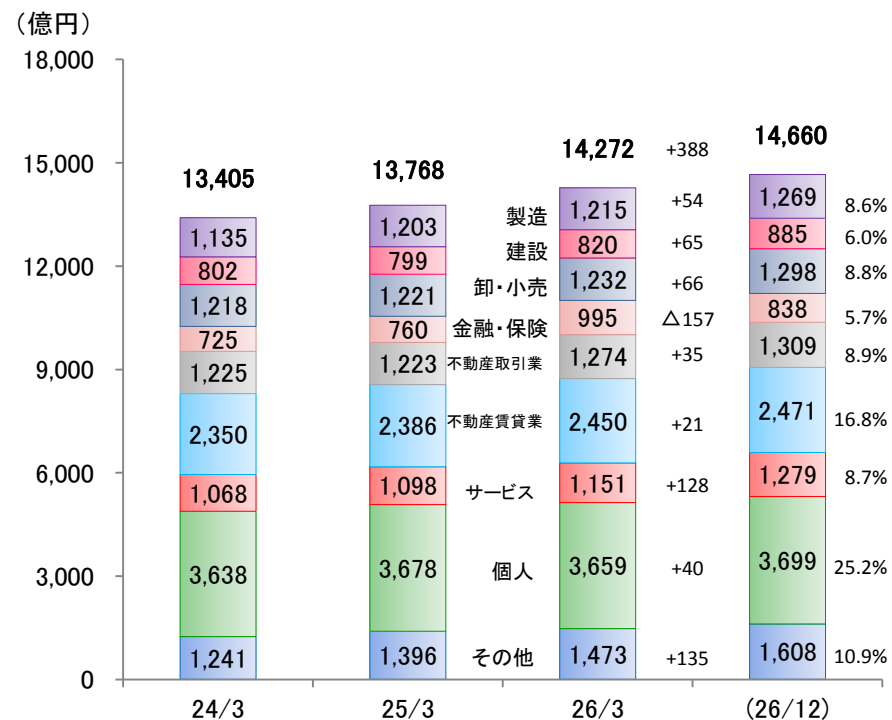
- ① サービス業……… **258**億円増加
- ② 不動産取引業…… **154**億円増加
- ③ 建設業…………… **136**億円増加
- ④ 卸・小売業……… **66**億円増加

## ■ 業種別貸出金残高推移 (東京都民)



※ 東京都民銀行は、不動産取引業と不動産賃貸業の区分が26/3期からとなっております。

## ■ 業種別貸出金残高推移 (八千代)



# 預金



## ■ 預金残高（東京TYFG）

(26/12末)

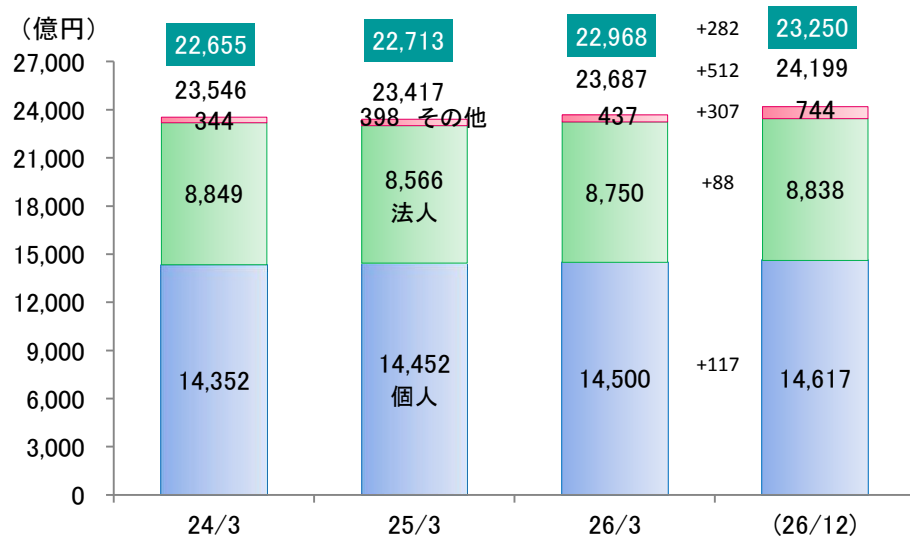
	東京TYFG
預金末残	<b>4兆5,518億円</b>

### ◆ 預金残高

- ・ 個人・法人とも順調に増加し、両行合算で末残ベースが前年度末比1,136億円増加(+2.5%)、平残ベースが563億円増加(+1.2%)。

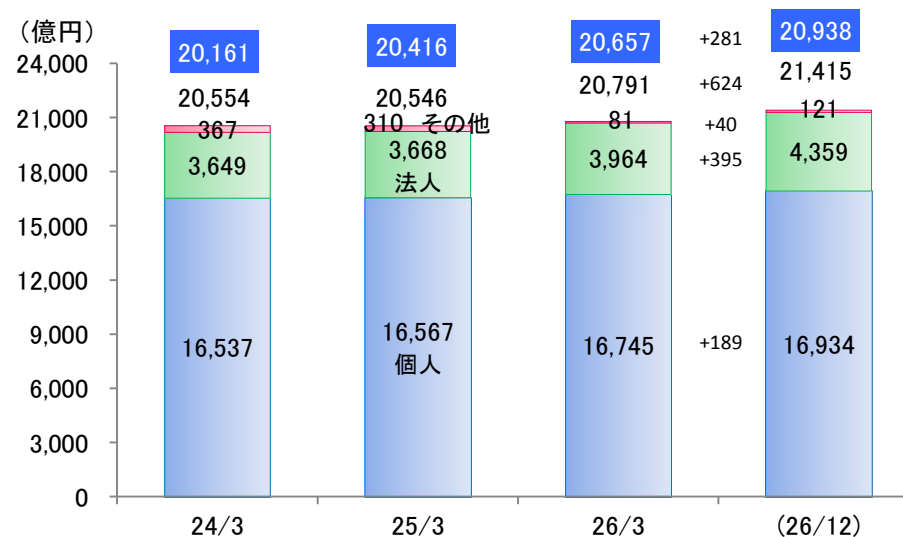
## ■ 顧客別預金残高推移（東京都民）

(白抜き数値は期中平残)



## ■ 顧客別預金残高推移（八千代）

(白抜き数値は期中平残)



# 有価証券

## ◆ 有価証券残高

- ・ 東京都民銀行は、低金利環境下、付加的に投資量及びリスク量のコントロールを図りながら機動的な運用を継続し、合計(末残)で前年度末比595億円増加(+11.5%)。
- ・ 八千代銀行は、順調な貸出金運用と分散投資の方針を背景に国債運用を抑制し、合計(末残)で前年度末比246億円減少(△3.9%)。

## ■ 有価証券残高 (東京TYFG)

(26/12末)

東京TYFG	
有価証券末残	<b>1兆1,896億円</b>

◆ 東京TYFGの預証率 **26.1%**

## ■ 時価のある有価証券の評価損益 (東京TYFG)

(26/12末)

- ◆ 満期保有目的・・・**141億円**
- ◆ その他有価証券・・・**100億円** (株式**58億円**、債券**34億円**、その他**8億円**)

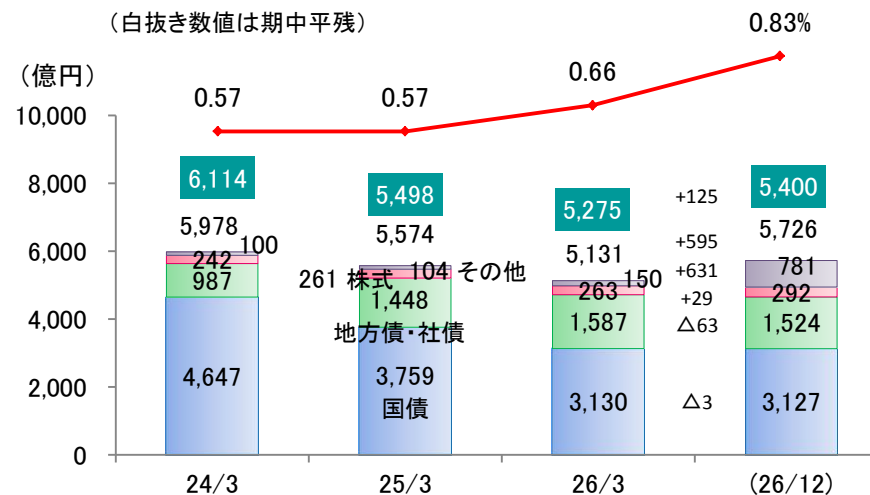
## ■ 有価証券関係損益

(百万円)

	項目	(25/12)	26/3	(26/12)
東京都民	国債等債券	<b>459</b>	<b>740</b>	<b>487</b>
	株式等	<b>874</b>	<b>929</b>	<b>186</b>
八千代	国債等債券	<b>2,512</b>	<b>2,890</b>	<b>2,004</b>
	株式等	<b>41</b>	<b>4</b>	<b>112</b>

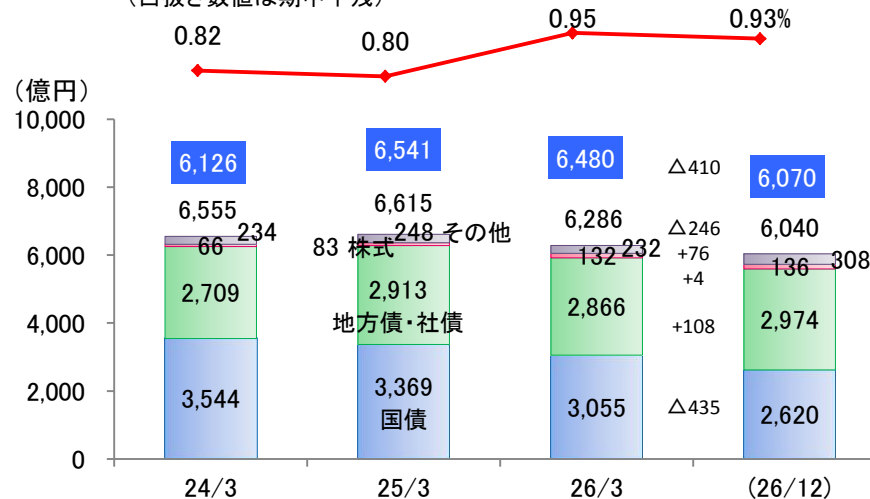
## ■ 有価証券残高・利回り推移 (東京都民)

(白抜き数値は期中平残)



## ■ 有価証券残高・利回り推移 (八千代)

(白抜き数値は期中平残)





# 預かり資産

## ■ 預かり資産残高（両行合算）

### ◆ 預かり資産残高の内訳

- ・ 投資信託 **2,235**億円
- ・ 保険 **1,892**億円
- ・ 公共債 **914**億円

(26/12)

### ◆ 預かり資産残高

- ・ 投資信託の両行共通商品の販売推進や共同研修の実施等により、預かり資産販売に注力した結果、両行合算で投資信託残高は前年度末比336億円増加し、2,235億円となる。
- ・ 総合計でも、公共債は減少したものの、前年度末比252億円増加の5,042億円となる。

## ■ 預かり資産残高推移（東京都民）

(億円)

	25/3	26/3	(26/12)	前年度末比 増減
投資信託	1,433	1,434	1,658	224
保険	1,280	1,186	1,161	△25
公共債	363	319	258	△61
残高合計	3,077	2,940	3,078	138

## ■ 預かり資産残高推移（八千代）

(億円)

	25/3	26/3	(26/12)	前年度末比 増減
投資信託	425	464	576	112
保険	607	663	731	68
公共債	809	722	656	△66
残高合計	1,842	1,850	1,964	114

# 金融再生法開示債権・与信コスト

## ◆ 金融再生法開示債権額および比率(部分直接償却後)

- ・ 開示債権額は、両行合算で前年度末比115億円減少し1,121億円となる。
- ・ 開示債権比率は、分子となる開示債権額の減少に加え、分母の中心となる貸出金が増加したことで、前年度末比0.4ポイント低下し3.36%となる。

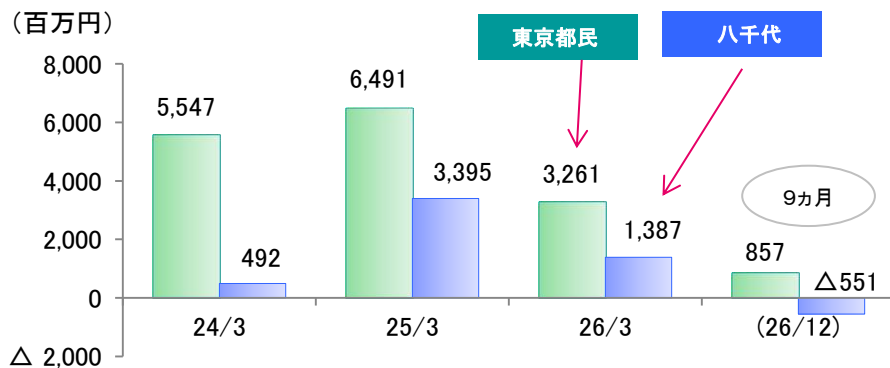
## ◆ 与信コスト

- ・ 与信コストは、貸出先の業況が比較的安定している状況が続いていることから低位で推移。

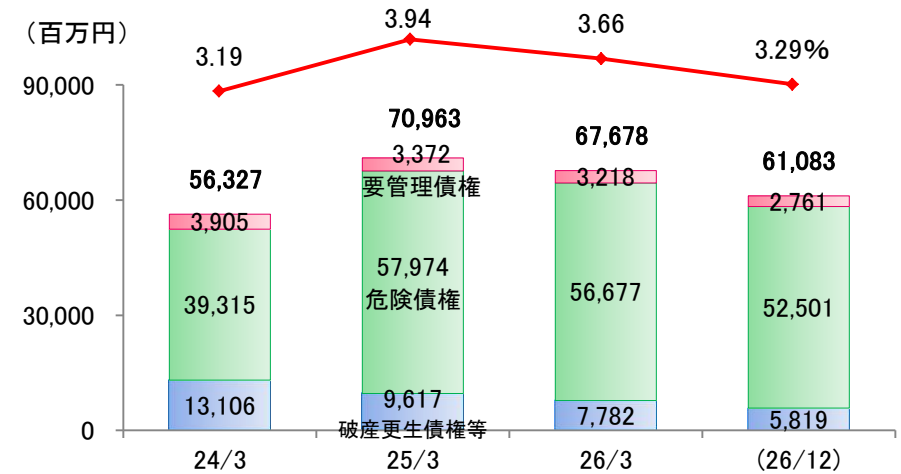
## ■ 金融再生法開示債権額および比率 (両行合算)

	26/3	26/12
金融再生法開示債権額	1,236億円	1,121億円
金融再生法開示債権比率	3.76%	3.36%

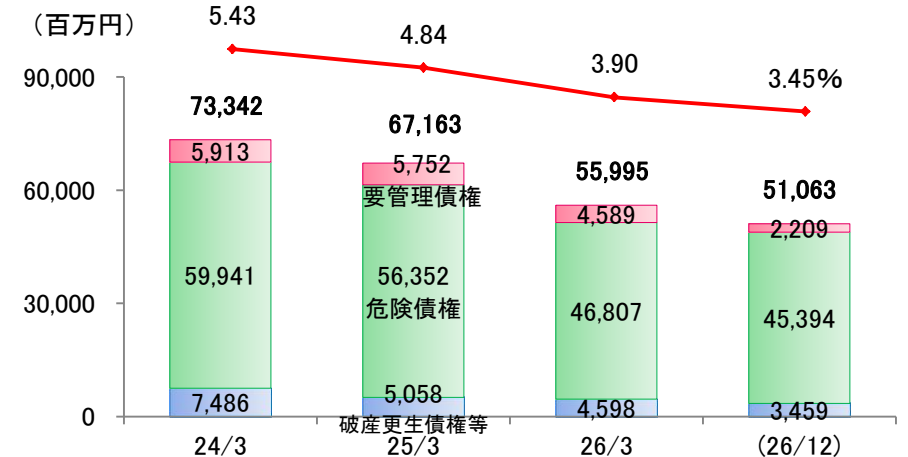
## ■ 与信コスト推移



## ■ 金融再生法開示債権額および比率 (東京都民)



## ■ 金融再生法開示債権額および比率 (八千代)



# 自己資本比率(バーゼルⅢ基準)

## ■ 連結自己資本比率(東京TYFG)

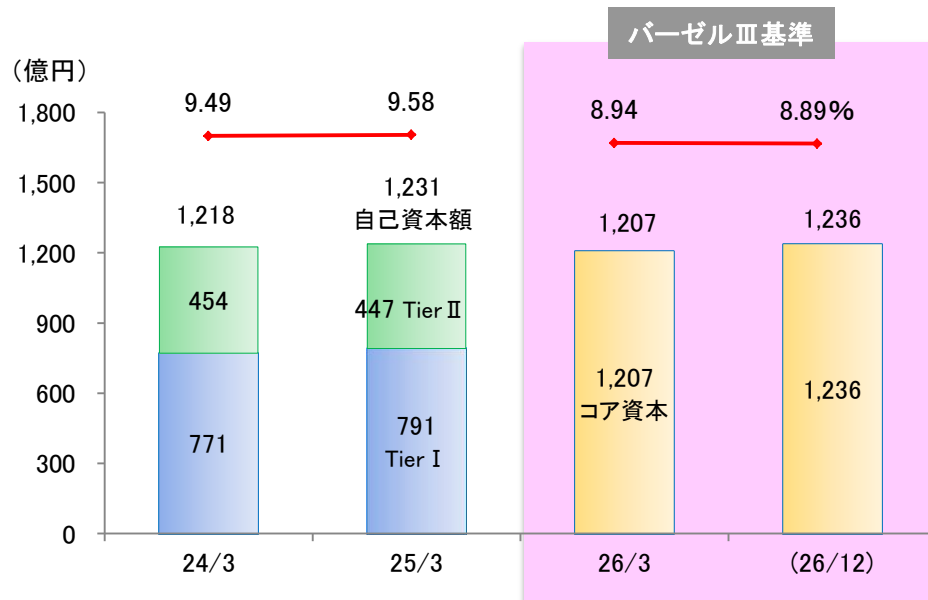
(26/12)

自己資本	2,376億円
リスク・アセット	2兆4,838億円
自己資本比率	9.56%

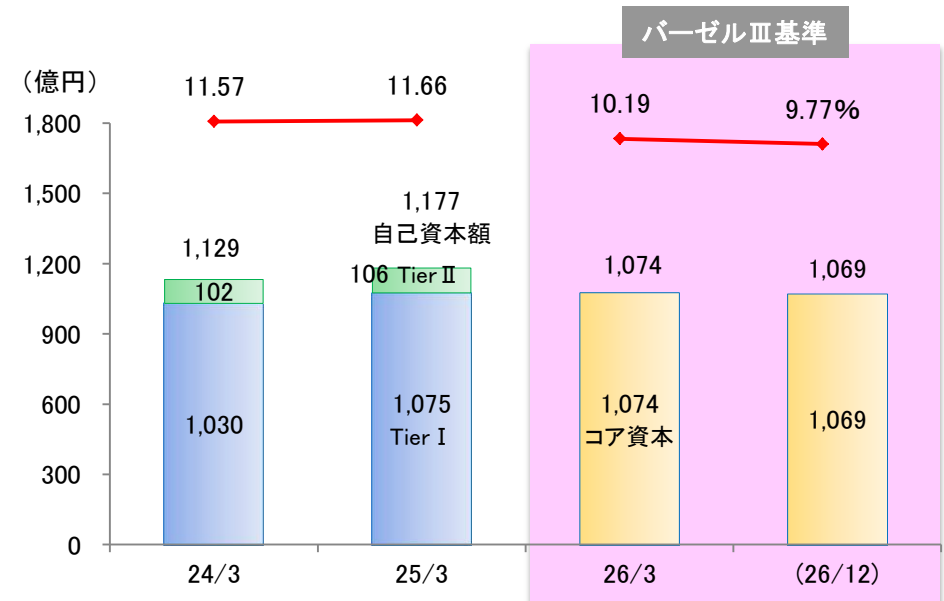
### ◆ 自己資本比率

- 東京TYFGの自己資本比率は9.56%となり、最低所要水準の4%を大きく上回る。
- 両行とも、貸出金を中心としたリスクアセットの増加に伴う分母の増加により、前年度末比やや低下。

## ■ 連結自己資本比率(東京都民)



## ■ 連結自己資本比率(八千代)



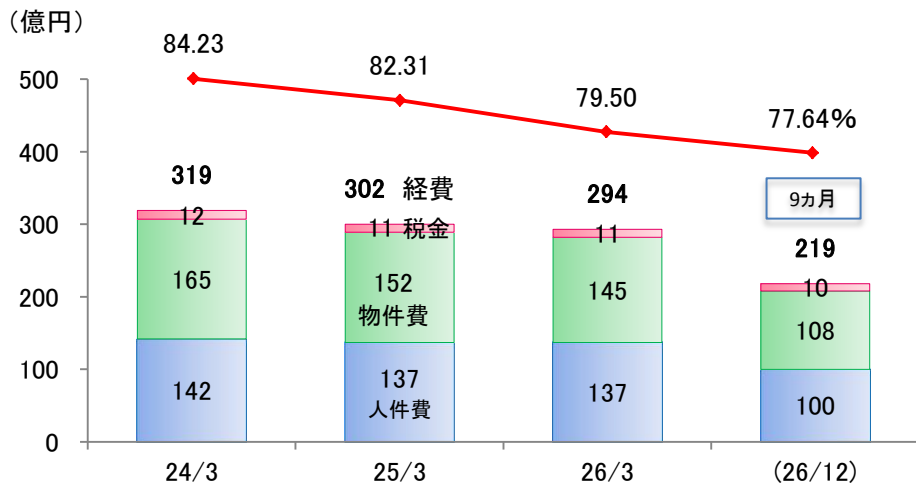
# コアOHR・ROE



◆ **コアOHR**  
 ・ 東京TYFGのコアOHRは78.07%となる。

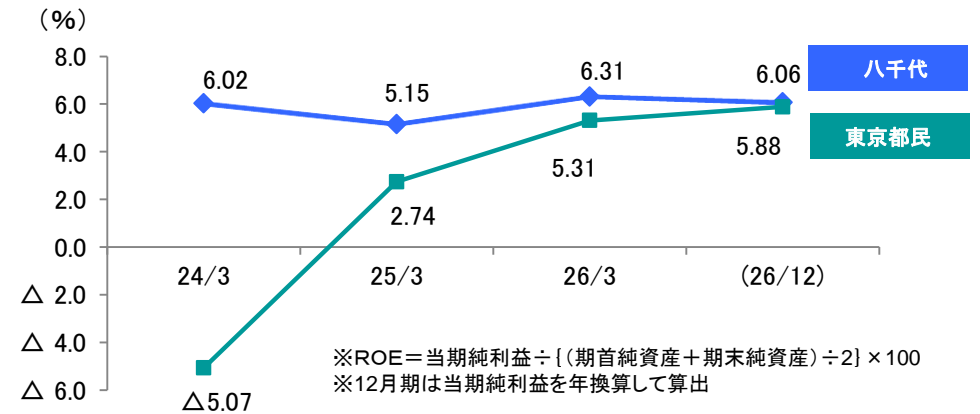


## ■ 経費およびコアOHRの推移 (東京都民)

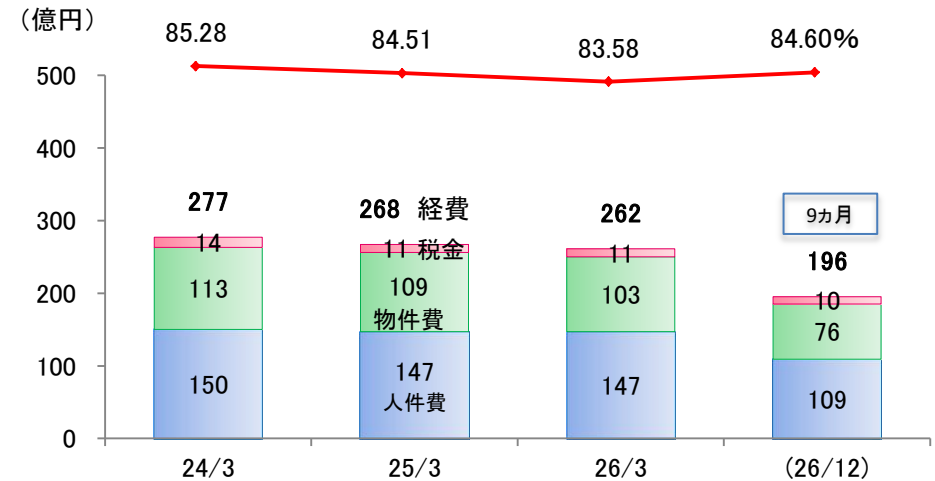


※コアOHR=経費÷(業務粗利益-国債等債券損益)×100

## ■ ROEの推移



## ■ 経費およびコアOHRの推移 (八千代)



# 平成27年3月期計画および今期業績の進捗

## ■ 計画および進捗率(東京TYFG連結)

(億円)

	26/12 実績	27/3 計画	進捗率
経常収益	445	629	70.7%
経常利益	84	87	96.5%
当期純利益	560	557	100.5%

## ◆ 業績の進捗状況

- 東京TYFG(連結)では、当期純利益の進捗率が100.5%となり計画を上回っている。
- 東京都民銀行では、経常利益の進捗率が101.8%、当期純利益の進捗率が105.7%と計画を上回っている。
- 八千代銀行では、経常利益、当期純利益とも進捗率が80%を超え、順調に推移している。

## ■ 計画および進捗率(東京都民)

(億円)

	26/12 実績	27/3 計画	進捗率	26/3実績 (参考)
経常収益	340	440	77.2%	444
コア業務粗利益	282	382	73.8%	370
うち資金利益	222	291	76.2%	295
経費(△)	219	292	75.0%	294
コア業務純益	63	90	70.0%	75
与信費用(△)	8	25	32.0%	32
経常利益	56	55	101.8%	47
当期純利益	37	35	105.7%	42
経常利益(連結)	68	64	106.2%	59
当期純利益(連結)	45	40	112.5%	49

## ■ 計画および進捗率(八千代)

(億円)

	26/12 実績	27/3 計画	進捗率	26/3実績 (参考)
経常収益	306	387	79.0%	404
コア業務粗利益	232	319	72.7%	314
うち資金利益	204	279	73.1%	284
経費(△)	196	259	75.6%	262
コア業務純益	35	60	58.3%	51
与信費用(△)	△5	10	—	13
経常利益	67	77	87.0%	78
当期純利益	46	57	80.7%	61
経常利益(連結)	72	83	86.7%	83
当期純利益(連結)	48	62	77.4%	63